

背景・現状・課題

・放課後等における多様な体験活動

震災の影響による地域コミュニティ再構築がうまく進んでいない地域や復興事業により新興住宅地ができたものの新たな地域コミュニティ作りが進んでいない地域があり、子どもたちの安心・安全な居場所の確保が必要である。地域の方々も協力を惜しまず、本事業に参画する事に生きがいを見出しており、地域の教育力の向上にも繋がっている。自主学習・昔の遊び・体験活動等をとおして、放課後の児童の安心・安全な居場所づくりに貢献するだけでなく、異年齢者との交流機会の創出や地域住民同士の交流、地域人材の活用によって、地域活性化の高まりが成果として表れている。

課題解決のために本事業で取り組むこと

次年度以降について、他地域での放課後子ども教室の開催を検討している。そのための開催地域の選定やスタッフの確保等が課題である。また、地域ボランティアの高齢化が顕著な地区もあり、数年後を見据えた人材の確保と育成を図る必要がある。新規の放課後子ども教室の解説に向けても、各地区のコーディネーターと連携を図り、地域住民の協力を得ながら充実した活動を行っていく。

本事業で達成する目標（アウトカム）

・小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

目標の達成度を図る指標

放課後子ども教室に関わった地域住民数

令和6年度実績値	令和7年度目標値	令和7年度実績
65人	68人	106人